

活動速報はホームページに掲載しています <http://www.garan.ne.jp/ochi>

鮭の稚魚放流(3/3)▶

ライオンズクラブ主催の「鮭の稚魚放流」に参加しました。

照沼小の子どもたちと一緒に、学校から新川まで歩いて移動し、稚魚を放流。生育して川に戻ってくる確率は1%程度とのこと。子どもたちに生命の大切さや故郷の自然に対する誇りの育みにつながる取り組みでした。



◀世界ほしいも大会inひたちなか(3/5)

地域エコノミストの藻谷浩介さんや生産者らが「ほしいも」を介した地域の魅力向上策について意見交換する第1回目の世界大会に参加しました。

東海村の特産品である「ほしいも」の魅力や可能性を改めて認識することができました。

編集後記

常陸太田市の郊外をドライブしていた際に、たまたま新築の上棟式に出くわした。近所の人や子どもたちがたくさん集まり、棟上げを終えた2階から撒かれる餅やお菓子を、老若男女が入り乱れて賑やかに拾っていた光景を目にした。

昔は全国各地でよく見かけた光景であり、私自身も幼い頃に必至にお菓子を拾ったことを今でも憶えている。そういえば、庭先に設置された「鯉のぼり」もあまり見なくなった。童謡の歌詞では「屋根より高いこいのぼり〜♪」であるが、今はベランダから風になびく姿も見受けられる。

時代の流れとともに、私たちの生活スタイルも大きく様変わりしつつあるが、日本の古き良き慣習や文化は、出来るだけ残していきたいと改めて感じた。

「日本を取り戻す」という政治家の声高らかなスローガンが記憶に新しいが、取り戻すべきは、日本の古き良き伝統ではないか。

(しん)

「浅野さとし」を応援しています

越智たつや後援会では、民進党茨城第5区の総支部代行として活動中の「浅野さとし」氏を応援しています。

皆さまのご理解・ご協力をお願いします。



きょうそう 競争から協創へ

浅野 哲(あさの さとし)

- ▶ 1982年生まれ(33歳)
- ▶ 大畠章宏 衆議院議員 秘書
- ▶ 日立市神峰町在住

わかば通信

東海村議会議員 越智たつや 議会報告

第33号 平成28年4月発行

発行人：越智たつや後援会
日立市幸町2-13-6
(日立製作所労働組合 日立支部内)
TEL 0294(26)0183
FAX 0294(26)0186

日頃のご支援に感謝申し上げます。
2月より新しい任期、新たな4年間の活動がスタートしました。

東海村のまちを形成する様々な要素の「つながり」が深まるような行政運営・まちづくりの実現に向けて、住民の皆さまの声に耳を傾けながら、一歩ずつ着実に取り組んでまいります。

引き続き、ご支援ご協力をお願いします。

越智辰哉



NEWS ～ 東海村行政の身近なニュースをお伝えします ～

待機児童解消をめざして



船場に開所した「おーくす船場こども園」



石神に開所した「さちのみ認定子ども園」

全国の自治体で、待機児童の問題が顕在化しています。東海村においても、平成24年度から保育所の定数が不足し始め、それ以降、待機児童問題が顕在化しました。そのため、百塚保育所の拡張や村松宿こども園を開設する等の対策を講じてきましたが、平成27年度末には県内でも4番目に待機児童数が多い(33名)状況となっていました。

4月1日からは、「おーくす船場こども園」および「さちのみ認定子ども園」の民間運営による認定こども園が2園開所しましたが、それでも、待機児童は解消しない見込みです。

「子育てしやすいまち」をめざす本村として、早急な対応を求めていきたいと考えます。

村政報告会を開催します



日時：平成28年5月15日(日)10:00～11:00

場所：舟石川コミセン会議室

※ どなたでも自由に参加できます。

一般会計200億円を可決 実質予算は前年比3億円減

平成28年3月定例会を、3月1日から24日までの会期で開きました。

今議会では、平成28年度予算案や地方創生に関連する補正予算、副村長人事など全65件の議案について審議し、すべて原案のとおり可決しました。



▲国体に向けて人工芝化される
阿漕ヶ浦公園内のホッケー場

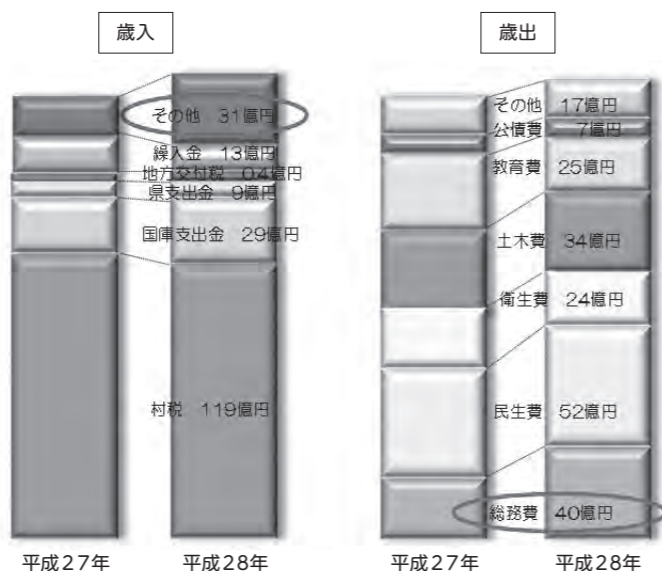
新年度予算の概要

平成28年度一般会計の予算規模は200億2,600万円であり、前年度より約9億円増の予算となりました。このうち、東日本大震災の復興交付金事業（緑ヶ丘および南台の耐震化）が終了することにもない、約12億円の返還金が計上されているため、実質的な予算は前年度比で約3億円の減額となっており、震災前の予算規模に戻っています。

歳入では、村税が約5億円減少しており、償却資産の経年減価による固定資産税の減額となり、歳出では中丸小学校の建設や南台団地の耐震化工事といった大規模公共工事の終了にともなう減額となっています。

持続可能な村政運営を行うためには、事業のスクラップ&ビルドを徹底するとともに、次世代への投資をバランスよく遂行する必要があることから、今後も効率的な行政運営について、積極的に提言してきます。

歳入出総額200.3億円(対前年比9億円増加)



▲南台団地の法面の耐震化工事が終了



▲中丸小学校の校舎建設工事が終了

これに注目!

平成28年度の 新規・重点事業

● 阿漕ヶ浦公園ホッケー場改修(4.11億円)



茨城国体の開催に向けてホッケー場を人工芝化するとともに、出入り口のバリアフリー化を図ります。

● 東新川改修(2億円)



真崎浦土地改良区内を流れる東新川約3kmにわたり、土砂の浚渫および法面ブロックの張替え補修を行い、豪雨による堤防決壊等に対応できるよう改修します。

● 海岸防災林機能強化(830万円)



海岸線沿いのマツ林の保全を目的に、原子力事業所と連携して、薬剤散布および枯れ木の伐倒駆除を行い、松くい虫による被害の拡大を防止します。

● 空き屋対策推進事業(336万円)



空き屋の所在等を把握するための調査を実施しデータベース化するとともに、空き家の適切な管理を促進する計画を策定します。

● (仮称)歴史と未来の交流館整備(3,015万円)



歴史的な要素に加え、次世代を担う子どもたちのための児童館の要素とを合わせた複合的な公共施設を新たに建築するための設計を進めます。

● ほしいも産地強化基礎調査事業(206万円)



生産農家独自の生産・加工手法を調査しマニュアル化することにより、安定した生産と品質を確保し、東海村ほしいもブランドの確立を目指します。

東海交番が駅西口に移転

かねてから、住民の皆さまより要望のあった原研通り沿いにある交番の駅前移転ですが、3月定例会の代表質問のなかで、平成28年度中に駅西口に移転する計画があることが判明しました。

移転時期や建物の規模など詳細は不明ですが、駅周辺の治安向上のためにも、1日も早く移転が実現することを期待します。



～東海第二発電所～ 早期の安全審査を求める意見書提出

平成26年5月に、日本原電(株)は原子力規制委員会に対して、安全審査の申請を提出していますが、審査が進んでいないことから、住民の不安が払しょくできない状況が継続しており、かつ東海第二発電所の今後の方向性に対する議論が深まらない。として、村商工会から議会に対して請願が提出されていました。



これを受け、議会最終日に「安全審査を早急を実施することを国に求める意見書」を賛成多数で可決しました。